



開講式・ オリエンテーション

日時：7月12日（土）14:00~17:00
会場：なは市民活動支援センター
会議室①
参加：受講生25名・チアーズ8名



なは市民協働大学院の第1回講座「開講式・オリエンテーション」が7月12日に開催されました。今年度は32名の受講生が集い、多様な世代・職業・地域背景をもった市民たちが、それぞれの想いを胸に「地域を変える学びと実践の旅」へと踏み出しました

開講挨拶 「コーディネーター的 人材の育成へ」

開会のあいさつでは学長の知念覚市長より、「地域の現状を見つめ、課題を見つけ、人や資源をつないで行動を起こす力＝コーディネーター的人材」の重要性が語られました。



なは市民協働大学院では、「じっくり＝課題設定力」「しっかり＝企画力」「ちゃっかり＝コーディネート力」を3本

柱とし、地域の未来を担う人材育成に取り組んでいます。

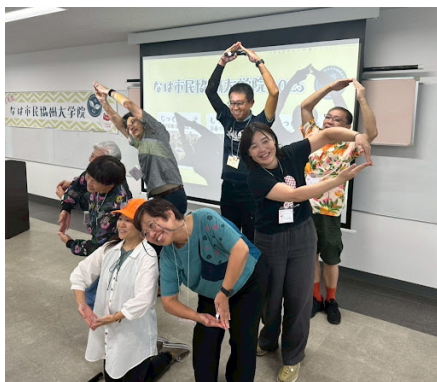
プログラム概要

事務局からは講座の全体像や進行スケジュールが紹介されました。調査・課題設定・企画立案・合宿・プレゼン発表までを網羅した8回構成で、実践者を育成するプログラムになっています。

中でも「森の家みんな」での合宿や、地域の実践者を招いたゲスト講座、実地調査に基づくアクションプランの作成など、座学にとどまらない“地域で学ぶ”設計が特色です。

応援団“チアーズ”登場！

なは市民協働大学院は、OBOGや実践者による応援団「チアーズ」が伴走します。今年度はチアリーダーの照屋りささんをはじめ、経験豊かでユーモアあふれるメンバーが登場しました。



自己紹介・アイスブレイク

自己紹介タイムでは、自治会役員、福祉関係者、保育士、学生、メディア関係者など多彩な受講生が、自分の背景や「地域に関わりたい理由」を語りました。



続くアイスブレイクでは「夏は山派？海派？」「戻るなら小・中・高どれ？」といったユニークな質問に、左右へ動いて答える身体を使ったアクティビティを実施。笑い声と拍手が飛び交い、緊張が一気にほぐれるひとときとなりました。



OB・OGによる実践報告「ミネコヤの挑戦」

大学院OBOGの活動紹介では、首里石嶺地域で居場所づくりに取り組む「ミネコヤ」による発表がありました。2023年度の修了生によって立ち上げた「ミネコヤ」は、石嶺小学校区まちづくり協議会のメンバーや2024年度の修了生も仲間に入れ、幅広く活動を展開しています。



チーム発表&決意表明

受講生は活動したい地域ごとに6チームに分かれ、初回から意気込みたっぷりのチーム紹介を発表！

【首里(末吉)チーム】

自然と歴史を活かし、「人とのふれあい」や「多世代交流」をキーワードに、温かくもゆるやかな調和を大切にするチーム。

【真和志(南)チーム】

教育機関の集積を活かし、若者や子どもを中心とした“つながり”の再構築へ。地域課題に丁寧に向き合う姿勢が光りました。

【新都心チーム】

行動力と元気が自慢！都市型の暮らしに、もっと人のぬくもりを。スピード感ある動きに注目です。

【中心市街地チーム】

観光客・移住者・地元民が混ざり合う地域で、「混ざって還元する」まちづくりを発信力豊かに表現。カチャーシーも飛び出しました！

【首里(子ども関係)チーム】

保育・教育の専門家が揃い、子どもや家庭に寄り添う地域支援を展開予定。「3/4の伸びしろ」を掲げて、今後の進化に期待。

【真和志(北)チーム】

鹿児島・高知・徳島・沖縄と“あったか県出身者”が集い、「地域資源を未来へつなぐ」まちづくりへ。LRT構想にも関心を寄せています。

【宿題】

第3回(8/19)までにやること

- ・チームで地域調査(まち歩き・データ・ヒアリング)を行い、ワークシートに肉付け、テーマを設定する！